



BRAdmin Professional 4

ユーザーズガイド

著作権

© 2019 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

本文書の情報は予告無く変更されることがあります。本文書に記載されているソフトウェアは使用許諾契約に従って提供されています。ソフトウェアは、これらの契約条項に従ってのみ使用またはコピーできます。本文書のいかなる部分も、ブラザー工業株式会社の書面による事前の許可なしに、いかなる形式または手段によっても複製することはできません。

商標

ブラザーは Brother Industries, Ltd. の商標もしくは登録商標です。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ

一部の機能は機種によってご利用いただけない場合があります。

ユーザズガイドに掲載されている画面キャプチャや画像はイラストでの説明のためにのみ提供されているものであり、実際の製品とは異なる場合があります。

本書の内容と製品仕様は予告無く変更することがあります。

目次

1 はじめに	1
1.1 概要	1
1.2 動作環境	3
2 デバイスの管理	4
2.1 新しいデバイスの探索	4
2.2 デバイスのグループ化とデバイスの絞り込み	5
2.3 デバイス ステータスの確認	5
2.4 操作とタスクの実行	5
3 操作	6
3.1 デバイス ステータスの更新	6
3.2 ウェブ管理画面を開く	6
3.3 グループへのデバイスの追加	6
3.4 グループからのデバイスの削除	6
3.5 選択したデバイスの詳細のエクスポート	6
3.6 テンプレートまたはデータベースの情報のエクスポート	7
3.7 デバイス リストからのデバイスの削除	7
4 インスタント タスク	8
4.1 パスワード設定	8
4.2 デバイスのファームウェアのアップデート	8
4.3 デバイスの再起動	9
4.4 設定編集	9
4.5 カスタム ソフトウェア ソリューションの有効化	9
4.6 デバイスへのファイルの送信	10
4.7 設定のバックアップ	10
4.8 ネットワーク設定のリセット	11
4.9 Mapply 機能	11
4.10 Microsoft Azure に接続されたデバイスの設定を変更する	12
4.11 Custom UI ファイルの送信	12
4.12 Custom UI 書き込みロックをロック / ロック解除する	12
4.13 Remote Panel	13
5 定期タスク	14
5.1 デバイス レポート	14
5.2 デバイス通知	14
5.3 デバイス リスト	14
5.4 デバイス設定維持	14
5.5 デバイス レポート / デバイス通知プロファイルの割り当て	15
5.6 証明書の管理	15
6 タスクのモニタリング	16
6.1 タスクのステータスの確認	16
6.2 タスクのモニタリング	17
6.3 デバイス自動初期設定	18
7 アプリケーション設定	21
7.1 基本設定	21
7.2 デバイス探索の設定	22

7.3 ネットワークの設定	24
7.4 Eメールサーバーの設定	24
7.5 パスワードによるアプリケーションの保護	25
7.6 デバイス設定維持	25
7.7 デバイス ログのプロファイルの作成	25
7.8 デバイス通知のプロファイルの作成	27
7.9 デバイス リストのプロファイルの作成	27
7.10 アプリケーション改善への協力の設定	28
7.11 情報	28
7.12 ツール : Setting File Editor	28
7.13 アプリケーションの設定とデータのバックアップと復元	29
7.14 証明書プロファイルの作成および管理	29
8 困ったときは	31
8.1 デバイスが検出されない場合	31
8.2 アクセス権不足	31
8.3 困ったときは	32

1 はじめに

1.1 概要

BRAdmin Professional 4 は、ブラザーのデバイスを管理し、デバイスのステータスをモニタリングするためのアプリケーションです。

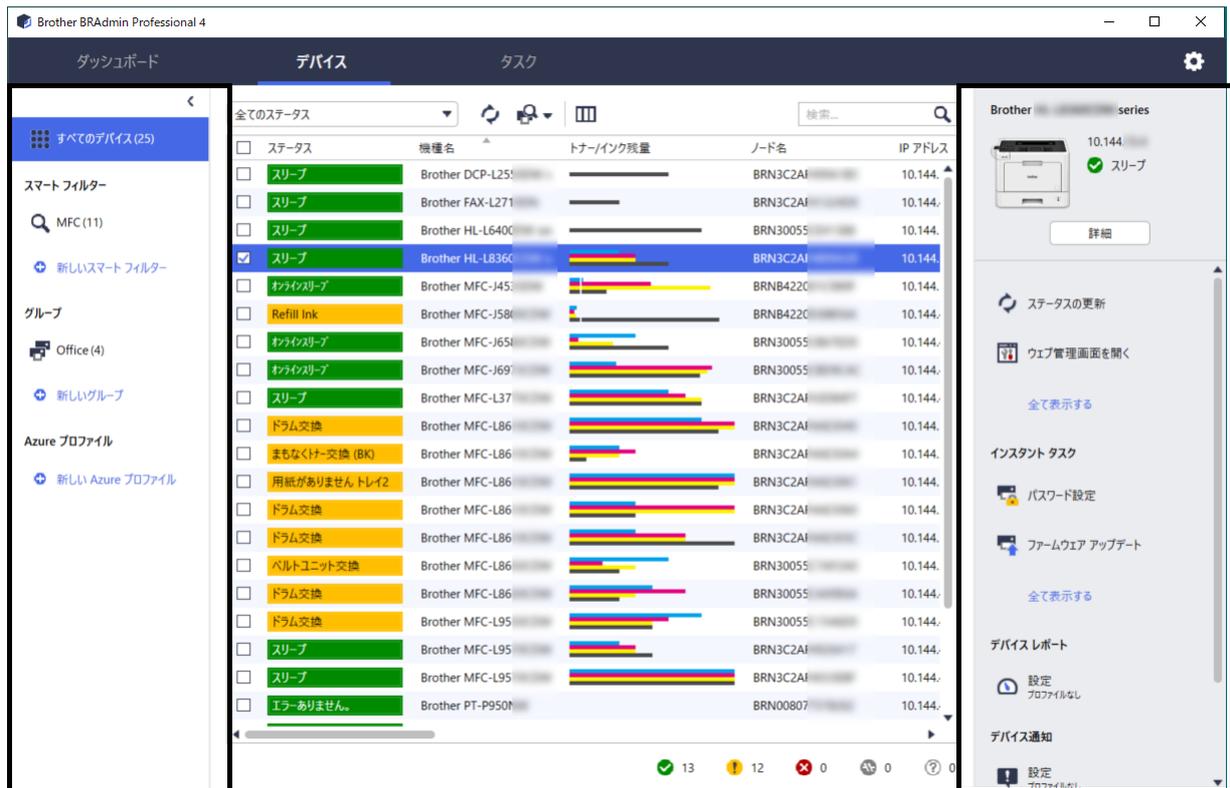
画面上のメニューバーのいずれかのタブをクリックして、メイン画面のビューを選択してください。

- ダッシュボード



起動するとダッシュボード画面が表示されます。この画面には、すべての管理対象デバイス、付属品に関する情報、メンテナンス情報 (付属品の交換が必要な場合)、検出されたデバイスのステータス、印刷枚数に関する情報、および最新のデバイス自動初期設定適用状況の情報が表示されます。

● デバイス



左側のペイン

右側のペイン

デバイス 画面には、デバイス名、デバイスのステータス、および具体的なデバイス情報が表示されます。

- デバイス グループを作成するには、左側のペインで**新しいグループ**をクリックします。
- スマート フィルターを作成するには、左側のペインで**新しいスマート フィルター**をクリックします。詳細は「[2.2 デバイスのグループ化とデバイスの絞り込み](#)」をご覧ください。
- Microsoft Azure を接続するには、左ペインの**新しい Azure プロファイル**をクリックします。詳しくは、*Microsoft Azure 向け BRAdmin Professional 4 ユーザーズガイド*をご覧ください。
- 操作やタスクを実行する際は、ひとつまたは複数のデバイスを選択し、右側のペインから実行する操作またはタスクを選択します。

右側のペインで利用できる操作やタスクのリストを展開するには、**全て表示する**をクリックします。



● タスク

タスクのリスト (進行中または保留中) と完了したタスクのログが表示されます。リストからタスクを選択すると、右側のペインに詳細と利用できる操作が表示されます。

● アプリケーション設定

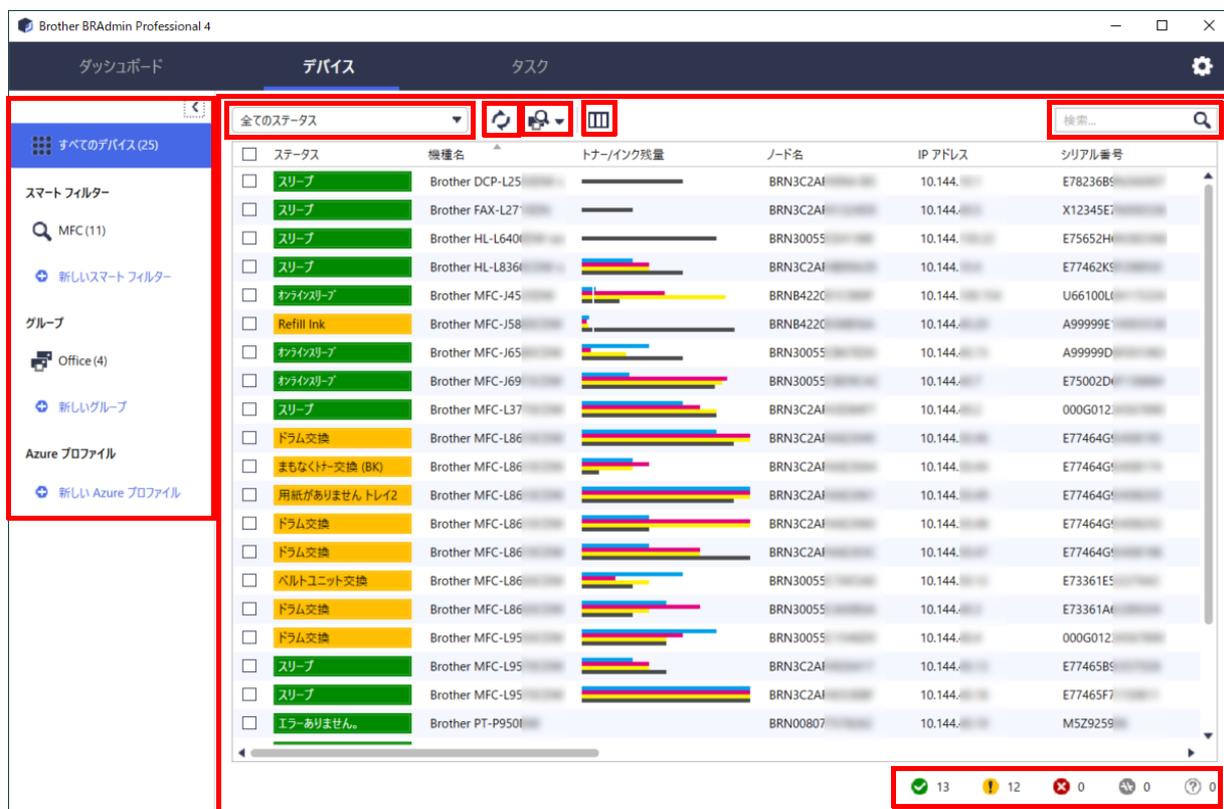
アプリケーション設定を変更する場合や、タスクのプロファイルを作成または編集する場合は、画面右上の  をクリックします。

1.2 動作環境

オペレーティングシステム	Windows 10 (32 ビットもしくは 64 ビット)/Windows 11 (64 ビット) Windows Server 2016 以降 (64 ビット)
追加のソフトウェア	.NET Framework 4.8 以降

2 デバイスの管理

画面上のメニューバーでデバイスをクリックし、デバイス リストを表示します。デバイス リストでは、デバイスを管理できます。



2.1 新しいデバイスの探索

BRAdmin Professional 4 を起動するとデバイスリストが更新されます。リストに対象デバイスが表示されていない場合は、次のいずれかの操作を実行します。

- 探索ボタン をクリックし、実行中のデバイスの検索を実行します。
- 探索ボタンのドロップダウンの矢印 をクリックし、次のいずれかの操作を実行します。

- デバイスの探索



デバイスの自動探索のスケジュールを設定するには、**アプリケーション設定 > デバイス探索**で、スケジュールを設定します。

デバイスの探索をクリックして、探索方法と設定に基づいて、ネットワーク接続、USB 接続、または Microsoft Azure に接続された新しいブラザーのデバイスをデバイス リストに追加します。詳細は「[7.2 デバイス探索の設定](#)」をご覧ください。

- デバイスを指定して探索



- リストで特定のデバイスを検索するには、検索ボックスにキーワードを入力します。
- デバイスのステータスを更新するには、 をクリックします。

デバイスを指定して探索 ... をクリックして、特定のネットワーク接続デバイス (IP またはノード名に基づく)、USB 接続デバイス、または Microsoft Azure 接続デバイスを追加します (キーボードショートカット : Insert)。

2.2 デバイスのグループ化とデバイスの絞り込み

右側のペインでデバイス グループまたはフィルターを作成し、選択して特定のデバイスをリスト表示します。

- スマート フィルター

スマート フィルターの条件を満たすデバイスを選択します。新しいスマート フィルターをクリックし、条件：フィールドに機種名、シリアル番号、場所などの条件を入力します。絞り込む条件がリスト化されたテキスト ファイルをインポートすることもできます。

- グループ

グループ化したデバイスを選択します。既存のグループにデバイスを追加するには、対象デバイスを選択し、右側のペインでグループに追加をクリックします。詳細は「[3.3 グループへのデバイスの追加](#)」をご覧ください。

2.3 デバイス ステータスの確認

ステータスや情報を確認するデバイスまたはグループを選択します。

- トナー/インク量や詳細な製品情報を確認するには、右側のペインで詳細をクリックします。
- デバイスをステータス別に表示するには、ツールバーのドロップダウンリストからステータスを選択します。デフォルトでは全てのステータスが選択されています。
- 特定の列を表示または非表示にする、もしくは列の順序を変更するには、 をクリックします。
- 利用できる操作とタスクをリスト表示するには、ひとつまたは複数のデバイスを右クリックします。
- 注意が必要なデバイスやエラーが表示されているデバイスの台数を確認するには、画面右下のアイコンを確認します。表示される各アイコンの意味は次の通りです。

 待機中

 接続に失敗しました

 注意

 エラー

 未設定

2.4 操作とタスクの実行

デバイス リストからひとつまたは複数の対象デバイスを選択し、右側のペインから操作またはインスタントタスクを選択します。必要に応じてプロファイルを作成しデバイスレポートとデバイス通知タスクを割り当てることができます。



- ひとつのデバイスに関する情報を確認するには、対象デバイスを選択し、右側のペインで詳細をクリックします。
- 利用できる操作とタスクは選択したデバイスによって異なります。

右側のペインに関する詳細は、「[1.1 概要](#)」をご覧ください。

詳細は、次のセクションをご覧ください。

- [3 操作](#)
- [4 インスタント タスク](#)
- [5 定期タスク](#)

3 操作

操作を実行するには、以下のいずれかの操作を行ってください。

- デバイスを選択し、右側のペインで必要な操作をクリックします。
- デバイスを右クリックし、表示されるメニューから実行する操作を選択します。



選択したデバイスに対して操作を実行できない場合、その操作に対応していません。

3.1 デバイス ステータスの更新

選択したデバイスのステータスを更新する場合：

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. ステータスの更新をクリックします。

3.2 ウェブ管理画面を開く

セキュリティやネットワーク設定など、本体設定をカスタマイズする場合は、Web Based Management を使用してください。

1. デバイスを1つ選択します。
2. ウェブ管理画面を開くをクリックします。

3.3 グループへのデバイスの追加

ひとつまたは複数のデバイスをグループに追加する場合：

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. グループに追加をクリックします。
3. 追加するグループ：フィールドから対象グループをひとつまたは複数選択するか、新しいグループ ... ボタンをクリックして新規グループを作成します。



デバイス リストからデバイスを対象グループにドラッグアンドドロップすることもできます。

3.4 グループからのデバイスの削除

ひとつまたは複数のデバイスをグループから削除する場合：

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. 選択中のグループから外すをクリックします。

3.5 選択したデバイスの詳細のエクスポート

選択したデバイスの詳細を CSV ファイルにエクスポートする場合：

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. エクスポートをクリックします。
3. エクスポートしたファイルの保存先フォルダーとファイル名を指定します。



CSV ファイルには、デバイス リストに表示されている項目のみが含まれます。また、項目はデバイス リストと同じ順序で表示されます。

3.6 テンプレートまたはデータベースの情報のエクスポート

(ラベルデバイスのみ)

選択したデバイスに適用されたテンプレートまたはデータベースの情報をエクスポートする場合：

1. デバイスを選択します。
2. **エクスポート (ユーザートランスファーファイル)** をクリックします。
3. エクスポートしたファイルの保存先フォルダーとファイル名を指定します。
4. **エクスポート** をクリックします。

3.7 デバイス リストからのデバイスの削除

デバイス リストからひとつまたは複数のデバイスを削除する場合：

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **削除** をクリックするか、キーボードの Delete キーを押してください。

4 インスタント タスク

インスタントタスクを実行するには、次のいずれかの操作を行ってください。

- デバイスを選択し、右側のペインの**インスタントタスク**の中から実行するタスクをクリックします。
- デバイスを右クリックし、表示されるメニューから実行するタスクを選択します。



- 定期タスクとは異なり、インスタントタスクはすぐに適用されます。詳細は「[5 定期タスク](#)」をご覧ください。
- ネットワークに接続されたデバイスの場合、インスタントタスクを実行するには、選択したデバイスのパスワードを入力する必要があります。
- 選択したデバイスに対してインスタントタスクを実行できない場合、インスタントタスクがサポートされていません。

4.1 パスワード設定

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **パスワード設定**をクリックします。
3. 次のいずれかの操作を実行します。
 - **設定済みのパスワードを変更する**
 - a. **設定済みのパスワードを変更する** のラジオボタンを選択します。
 - b. **現在のパスワード**: フィールドに現在のパスワードを入力します。
 - c. **新しいパスワード**: と **新しいパスワード (確認用)**: に新しいパスワードを入力します。
 - **デフォルトのログインパスワードを変更する場合**

クラウドコネクション デバイスはサポートされていません。

 - a. **未設定デバイスのパスワードを新しく設定する** のラジオボタンを選択します。
 - b. **新しいパスワード**: と **新しいパスワード (確認用)**: に新しいパスワードを入力します。



本製品の設定を管理するためのデフォルトのパスワードは、本製品の背面に記載されています。「Pwd」の後に続く番号がパスワードとなります。

4. **適用**をクリックします。

4.2 デバイスのファームウェアのアップデート

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ファームウェア アップデート**をクリックします。
3. **最新のファームウェアに更新する** のチェックボックスを選択します。



自動アップデートを行わず最新のファームウェアかどうかを確認するには、**最新のファームウェアに更新する** のチェックボックスのチェックを外してください。

4. パスワード保護されているデバイスの**デバイス パスワード**を入力します。
5. **実行**をクリックします。

最新のファームウェアが利用できる場合、BRAdmin Professional 4 によってファームウェアがダウンロードされ、対象デバイスのファームウェアが自動アップデートされます。

4.3 デバイスの再起動

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **再起動**をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
4. **再起動**をクリックします。

4.4 設定編集

Brother BRAdmin Professional 4

← 設定編集

対象:

機種名	ノード名	IP アドレス	シリアル番号	MAC ア
Brother MFC-L9570CDW series	BRN000000000001	172.16.0.2	XXXXXXXXXXXX002	00:00:0

デバイス パスワード:

IP 設定の方法:
自動

IP アドレス:
172 . 16 . 0 . 2

サブネット マスク:
255 . 255 . 0 . 0

ゲートウェイ:
172 . 16 . 254 . 254

ノード名:
BRN000000000001

ロケーション情報:
Office

連絡先:

適用 キャンセル

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **設定編集**をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
4. 各種設定を編集します。
 - IP 設定の方法 : (ネットワーク接続デバイスのみ)
 - ノード名 : (ネットワーク接続デバイスのみ)
 - ロケーション情報
 - 連絡先
5. **適用**をクリックして変更を保存します。

4.5 カスタム ソフトウェア ソリューションの有効化

この操作には、有効なライセンスファイルが必要です。ライセンス ファイルには、多くのデバイスで同時にソリューションを有効化することを可能にする有効化コードが含まれています。ライセンス ファイルを送信し、対象のデバイスでカスタム ソフトウェア ソリューションを有効化できます。
ライセンス ファイルをお持ちでない場合は、お近くのブラザーの窓口にお問い合わせください。

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ソリューション管理**をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。

4. 次のいずれかの操作を実行します。

- ライセンスファイルをお持ちの場合: **ライセンス ファイル**: ラジオボタンを選択し、下のフィールドにファイル名を入力するか、**参照 ...** ボタンをクリックして、ライセンス ファイルを選択します。
- ライセンスコードをお持ちの場合: **ライセンス コード (20 桁)**: ラジオボタンを選択し、フィールドにライセンス コードを入力します。

複数のコードを入力できますが、各行に入力できるライセンスコードはひとつです。

5. **結果の保存先**: フィールドの横にある**参照 ...** ボタンをクリックして、結果ファイルを保存するフォルダーを指定します。パスをコピーして、このフィールドに貼り付けることもできます。
6. **適用**をクリックします。

4.6 デバイスへのファイルの送信

対象デバイスにファイル (PRN、EDPK、SSF や ELDPK ファイル) を送信するには、次の操作を行ってください。

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ファイル送信**をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
4. 対象デバイスに送信するファイルを指定します。
5. **送信**をクリックします。



- EDPK ファイルなどデバイス設定ファイルを送信するには、デバイス パスワードが必要となります。
- 本体設定ファイルを送信すると、本体設定が変更され、デバイスの動作が変わる可能性があります。ファイルを送る前に本体設定ファイルが正しいことを確認してください。

4.7 設定のバックアップ

このタスクを実行するには、デバイスパスワードが必要です。

バックアップ設定機能で作成されるファイルのパスワードは、デバイスパスワードと同じになります。

対象:

機種名	ノード名	IP アドレス	シリアル番号	MAC アドレス
Brother MFC-L9570CDW series	BRN000000000001	172.16.0.2	XXXXXXXXXXXXX002	00:00:00:00:00:00

デバイスパスワード:

保存先:

C:\result **参照...**

USBドライブ経由でバックアップファイルを設定する場合はバックアップファイル名を変更しないでください。

バックアップ項目:

全項目

選択した項目:

- 基本設定
- アドレス帳
- ディスプレイ
- 印刷
- スキャン
- コピー
- ファクス
- 管理者設定
- ネットワーク

デバイス固有の情報:

削除する

バックアップ **キャンセル**

対象デバイスの設定を DPK ファイルまたは暗号化された EDPK ファイルとして保存するには、次の操作を行ってください。

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. 右側のペインで**設定のバックアップ**をクリックします。
3. **保存先**: の横にある**参照 ...** ボタンをクリックし、設定のバックアップ ファイルの保存先を指定します。パスをコピーして、このフィールドに貼り付けることもできます。
4. **バックアップ項目**: フィールドで、**全項目**を選択するか、**選択した項目**: を選択し、バックアップする項目を指定します。
5. バックアップファイルに IP アドレスまたはノード名などデバイス固有の情報を含めない場合は、**削除する**のチェックボックスを選択します。
6. **バックアップ**をクリックします。



- USB フラッシュドライブ経由でファイルを展開する場合は、ファイル名を変更しないでください。USB 経由での展開には、指定のファイル名形式が必要となります。
- 機種によっては、SSF または ELDPK ファイルが作成されます。

4.8 ネットワーク設定のリセット

全デバイスで、この機能により以下の項目が工場出荷時の設定にリセットされます。

- IP アドレス
- ノード名
- ロケーション情報
- 連絡先

デバイスによっては、その他の設定もリセットされる場合があります。

1. ひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. **ネットワーク設定のリセット**をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスの**デバイス パスワード**を入力します。
4. **リセット**をクリックします。

4.9 Mapply 機能

Mapply 機能により、適用プロファイル (Deployment profile) を使用して指定した設定ファイルを複数のデバイスに同時に送信して適用します。

1. 対象デバイスを選択します (適用プロファイル (Deployment profile) で選択・指定されたデバイスのみが実行の対象となります)。
2. **ファイル送信**をクリックします。
3. 対象デバイスに送信する適用プロファイル (Deployment profile) を指定します。
4. **送信**をクリックします。



- 適用プロファイル (Deployment profile) は、対象デバイスの情報、設定項目、固有の設定値、設定ファイルなどの情報が含まれるファイルです。
- 適用プロファイル (Deployment profile) ファイルの形式は CSV ファイルまたはパスワード付 ZIP ファイルです。
- 適用プロファイル (Deployment profile) の形式が無効である場合、Mapply 機能は使用できません。

4.10 Microsoft Azure に接続されたデバイスの設定を変更する

Setting File Editor を使用して、Microsoft Azure に接続されたデバイスの設定を変更します。

1. Microsoft Azure に接続されているデバイスを 1 台選択します。
2. **設定編集 (Setting File Editor) ...** をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
4. **編集** をクリックします。

BRAdmin Professional 4 はバックアップ設定機能を実行し、デバイスの情報を取得します。

情報の取得が完了すると、Setting File Editor 画面が表示されます。

5. 各種設定を編集し、**適用** をクリックします。

4.11 Custom UI ファイルの送信



- Custom UI ファイル (DJF ファイル) は、Brother Custom UI Tool を使用して作成するカスタマイズしたホーム画面ファイルです。
- Custom UI ソフトウェア ソリューションが対象デバイスで有効であることを確認します。
- Custom UI に関する詳細は、お近くのブラザーの窓口にお問い合わせください。

以下の手順に従って、複数の弊社のデバイスにカスタマイズしたホーム画面を送信します。

1. デバイスを選択します。
2. **ソリューション管理** をクリックします。
3. 右側の操作選択メニューから、**Custom UI ファイルの送信** を選択します。
4. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
5. **Custom UI ファイル**: フィールドにパスを入力するか、または **参照 ...** ボタンをクリックして Custom UI ファイル (DJF ファイル) の保存先フォルダーを選択します。
6. **Custom UI 書き込みロック パスワード**: に、Custom UI 書き込みロック パスワードを入力します。
データへのアクセスを制限し、ホーム画面の不正な編集を防ぐため、カスタマイズしたデータには必ず書き込みロックパスワードを設定してください。
7. **適用** をクリックします。終了すると、デバイスは自動で再起動して、カスタマイズしたホーム画面が表示されます。



更新した Custom UI ファイルをデバイスに送信する前に、Custom UI 書き込みロックのロックを解除する必要があります。

4.12 Custom UI 書き込みロックをロック / ロック解除する

1. デバイスを選択します。
2. **ソリューション管理** をクリックします。
3. 右側の操作選択メニューから、**Custom UI 書き込みロック / ロック解除** を選択します。
4. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
5. **ロック**: または **ロック解除**: ラジオボタンを選択し、Custom UI 書き込みロックパスワードを入力します。
6. **適用** をクリックします。

4.13 Remote Panel



- Remote Panel ソフトウェア ソリューションが対象デバイスで有効であることを確認します。
 - 離れた場所にある製品の液晶ディスプレイにアクセス可能なユーザーがいることを確認します。このプロセスにおいては、このユーザーに指示を伝える必要があります。
-

Microsoft Azure Storage サービスに接続された BRAdmin Professional 4 を使って、離れたデバイスの操作パネルにアクセスする場合：

1. クラウドコネクション デバイス (BRAdmin Professional クライアントを介して Microsoft Azure に接続した製品ではない) を 1 台選択します。
2. **Remote Panel** をクリックします。
3. パスワード保護されているデバイスのデバイス パスワードを入力します。
4. **実行** をクリックします。
5. 離れた製品の液晶ディスプレイにアクセス メッセージが表示されたら、製品のそばにいるユーザーに **Yes** (はい) を押すように指示します。
6. 操作パネルが表示された Web ブラウザが自動的に起動します。これで離れた場所にある製品の操作パネルを操作できます。リモートセッションを終了するには、**End** (終了) をクリックします。

5 定期タスク

次のタスクは、事前設定したスケジュールに従って、必要なデバイス情報を提供します。

5.1 デバイス レポート

このタスクは、印刷枚数、ステータス、供給情報などの情報（ログ項目）を含むデバイス レポートを生成します。設定したスケジュールに従って、デバイスログをメールで送信したり、ログファイルを特定の保存先フォルダに保存することができます。

5.2 デバイス通知

このタスクは、対象デバイスのステータスを定期的を取得してデバイスをモニタリングします。ステータスにエラーや変更がある場合、BRAdmin Professional 4 より、エラーまたは変更に関する通知が E メールで送信されます。



デバイス通知は、デバイスまたはステータスの変更ごとに 1 通のメールを送信します。

5.3 デバイス リスト

このタスクは、事前設定したスケジュールに従って、デバイス リストのデバイス情報を取得し、デバイス リストの情報を E メールで送信するか、保存先として指定したフォルダーにファイルを保存します。デバイス リストのタスクの設定と E メール サーバーの設定に関する詳細は、「[7 アプリケーション設定](#)」をご覧ください。

5.4 デバイス設定維持

このタスクは、定期的に対象デバイスをモニタリングし、設定が誤って変更された場合、元の設定を復元します。デバイスのファームウェアを常に自動更新したい場合は、**最新のファームウェアに更新する**のチェックボックスを選択します。デバイス設定維持に関する詳細は、「[7 アプリケーション設定](#)」をご覧ください。

5.5 デバイス レポート / デバイス通知プロファイルの割り当て

デバイス レポート / デバイス通知タスクを実行するには、ひとつまたは複数のデバイスにタスク プロファイル を割り当てます。

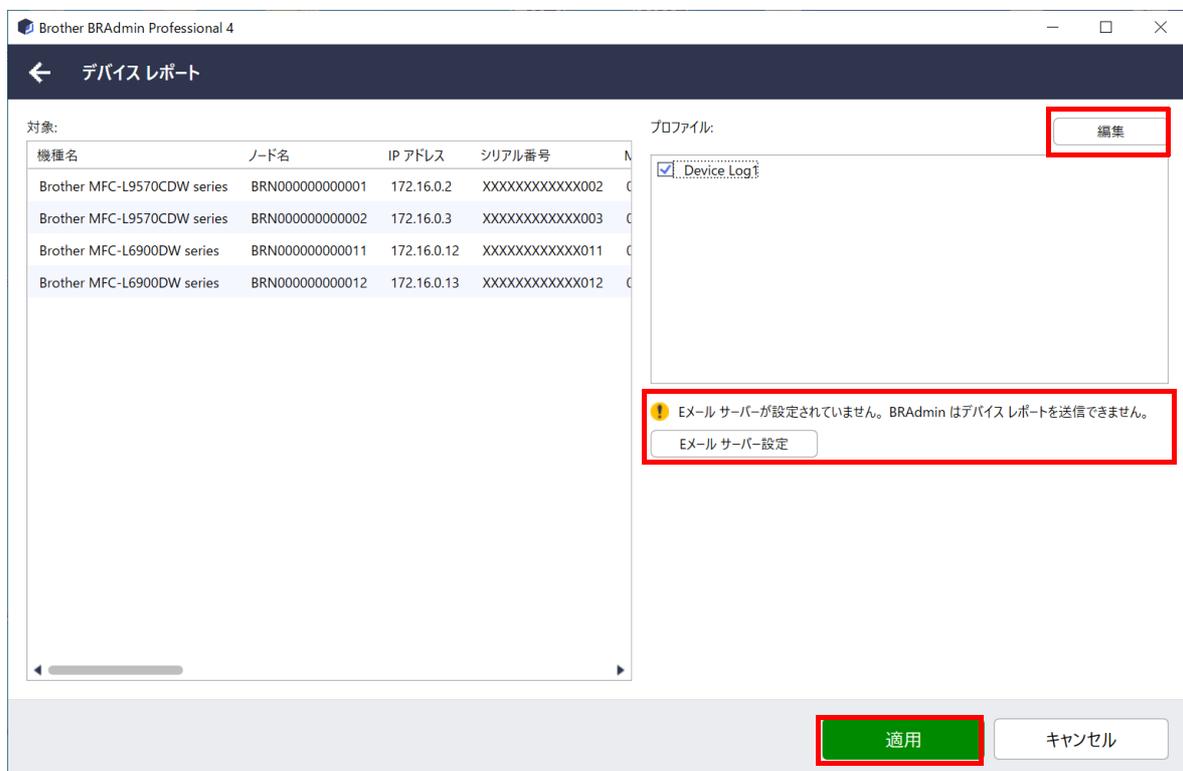
1. デバイス リストからひとつまたは複数のデバイスを選択します。
2. デバイス レポートまたはデバイス通知メニューのいずれかから設定をクリックします。
3. プロファイル: フィールドで、割り当てたいプロファイルを選択します。



適用をクリックする前に、次の操作を行う必要がある場合があります。

- 利用できるプロファイルがない場合や、選択したプロファイルを編集する場合は、**編集**をクリックします。これで、**アプリケーション設定**で新規プロファイルの作成や、選択したプロファイルの編集が可能となります。
- E メール サーバーが設定されていないことを通知するメッセージが表示された場合や、すでに設定された E メール サーバーの設定を変更する場合は、**E メール サーバー設定**をクリックします。各種設定は**アプリケーション設定**で行うことができます。

4. **適用**をクリックします。



5.6 証明書の管理

対象デバイスにインストールされた証明書を、指定した間隔でアップデートできます。詳細については、「[7.14 証明書プロファイルの作成および管理](#)」を参照してください。

6 タスクのモニタリング

実行中のタスクのステータスをモニタリングし、完了したタスクの結果を確認するには、画面上のメニューバーのタスクをクリックします。

左側のペインには、次のタスク カテゴリが表示されます。

- インスタント タスク
- デバイス レポート
- デバイス通知
- デバイス リスト
- デバイス設定維持
- 証明書の管理
- デバイス自動初期設定

各タスク カテゴリの横に表示されている数字は、実行中のタスクの件数です。

6.1 タスクのステータスの確認

タスクとタスクのステータスを表示するには、左側のペインでタスク カテゴリを選択します。表示される情報は、タスクの種類によって異なります。

右側のペインにタスクのプロパティと操作を表示するには、タスク リストからタスクを選択します。

BRAdmin Professional 4 では、ステータスによって通知アイコンの色が変わります。

- 青：新規タスクが作成されたことを示します。
- オレンジ：エラーが発生していることを示します。

- ステータス別にタスクを表示する場合は、**タスク ログ**のドロップダウンリストからステータスを選択します。
- タスクを検索する場合は、検索ボックスにタスクのキーワードを入力します。
- 新規作成されたタスクの有無については、通知アイコンで通知されるだけでなく、フッターにも表示されます。フッターには、操作のステータス（継続中または完了済み）とエラーの発生状況も表示されます。

通知アイコン

タスク	ステータス	開始日時	終了日時	対象
ソリューション管理	エラー	2019/07/19 11:27	2019/07/19 11:27	1
ファームウェア アップデート	完了	2019/07/04 17:06	2019/07/04 17:06	1

6.2 タスクのモニタリング

インスタント タスクをモニタリング、停止、再試行するには、**インスタント タスク**をクリックし、次のいずれかの操作を実行します。

1. **現在のタスク** フィールドで実行中のタスクを選択し、右側のペインで次のいずれかの項目をクリックします。
 - **詳細**: タスクのステータスと詳細を確認します。
 - **停止**: タスクを停止します。
2. **タスク ログ** フィールドで完了済みまたは中断されたタスクを選択し、右側のペインで次のいずれかの項目をクリックします。
 - **詳細**: 完了済みタスクのステータスを確認します。エラーによって中断された場合は、タスクを再試行します。
 - **削除**: タスクを削除します。
 - **エクスポート (タスク ログ)**: 選択したタスク ログを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

タスクを管理するには、**デバイス レポート**、**デバイス通知**、**デバイス リスト**、**デバイス設定維持**、または **証明書 の管理** をクリックし、次のいずれかの操作を実行します。

1. **現在のタスク** フィールドで実行中または停止中のタスクを選択し、右側のペインで次のいずれかの項目をクリックします。
 - **設定**: タスクの設定を表示または編集します。
 - **テスト メール送信**: テストメールを送信します。
 - **一時停止 / 再開**: 実行中のタスクを一時停止するか、停止中のタスクを再開します。
 - **今すぐ実行**: タスクをすぐに実行します。
2. **タスク ログ** フィールドで完了済みまたは中断されたタスク プロファイルを選択し、右側のペインで次のいずれかの項目をクリックします。
 - **詳細**: 完了済みタスクのステータスを確認します。
 - **アプリケーション ログ**: タスクの詳細を確認します。
 - **削除**: 選択したタスク ログの項目を削除します。
 - **エクスポート (タスク ログ)**: 選択したタスク ログを、CSV ファイルとしてエクスポートします。



次のいずれかのタスクの実行中は、**エクスポート (タスク ログ)** 操作を行うことはできません。

- デバイス レポート
 - デバイス通知
 - デバイス リスト
-

6.3 デバイス自動初期設定

設定した条件を満たすデバイスを検索し、自動設定（例えばパスワード設定やファームウェアアップデートの設定）を行うには、このタスクを使用します。日時を指定して探索のスケジュールを設定することもできます。



Mapply 機能はデバイス自動初期設定では実行できません。

アプリケーション設定で作成した他のプロファイルとは異なり、デバイス自動初期設定プロファイルはタスク画面を開き、**新規作成 ...** をクリックすると作成されます。

タスク画面では、既存の**デバイス自動初期設定**タスクをモニタリングできます。

The screenshot shows the 'タスク' (Tasks) page in Brother BRAdmin Professional 4. The left sidebar has 'デバイス自動初期設定 (1)' selected. The main area is divided into '現在のタスク' (Current Tasks) and 'タスクログ' (Task Log). The '現在のタスク' section contains a table with one task: 'Autoconfiguration 1' with status '動作中' (Running) and target '1'. The 'タスクログ' section shows a table with one completed task: 'Autoconfiguration 1' with status '完了' (Completed), start time '2020/06/12 13:50', and target '1'. The right-hand panel shows details for 'Autoconfiguration 1', including '動作中' (Running), target '1', and execution trigger '探索実行時' (On search execution). It also lists the automation profile as 'ファームウェア アップデート' (Firmware Update) and provides control buttons: '設定' (Settings), '一時停止' (Pause), '削除' (Delete), and '今すぐ実行' (Run Now). A red box highlights the '新規作成...' (New) button in the top right of the main area.

新規デバイス自動初期設定タスクを作成するには、次の操作を行ってください。

1. 左側のペインで、**デバイス自動初期設定**を選択します。
2. **新規作成 ...** をクリックします。
3. デフォルトのタスク名を変更するには、**タスク名**：フィールドに新しいデバイス自動初期設定タスク名を入力します。

4. 対象デバイスまたは探索条件を指定します。**対象**：フィールドの **+▼** をクリックし、次のいずれかの操作を実行します。

- スマート フィルターのフィルター条件を使用するには、**スマート フィルター ...** をクリックします (詳細は「[2.2 デバイスのグループ化とデバイスの絞り込み](#)」をご覧ください。)
 - 探索条件を指定するには、**機種名 ...**、**ノード名 ...**、**IP アドレス ...**、**シリアル番号 ...**、または **MAC アドレス ...** を選択します。**インポート ...** をクリックすると、BRAdmin Professional 3 または 4 からエクスポートした条件のリストをインポートできます。
5. **実行トリガー**で適用するタイミングを指定します。
「**時間指定**」で「**探索実行時**」または希望の時間に指定できます。
- 「**時間指定**」を選択すると、**デバイス探索設定**がグレーで表示されます。
 - 「**探索実行時**」を選択し、**デバイス探索設定**を行っていない場合、「**デバイスの定期探索が設定されていません。このタスクは手動探索のみで適用されます。**」のメッセージが表示されます。**デバイス探索設定**をクリックし、スケジュールを設定します。
(詳細は「[7.2 デバイス探索の設定](#)」をご覧ください。)
6. **オートメーションフロー設定 ...** フィールドで対象デバイスにタスクを割り当てます。
- タスクまたは操作を追加する場合：**オートメーションフロー設定 ...** をクリックします。
 - 現在のタスクまたは操作を変更する場合：**編集**をクリックします。
7. **作成**をクリックします。



指定した設定項目を削除する場合は、項目を選択し、**削除** をクリックします。

デバイス自動初期設定タスクをモニタリングするには、**デバイス自動初期設定**をクリックし、次のいずれかの操作を実行します。

1. **現在のタスク**フィールドから実行中または停止中のタスクを選択し、右側のペインで次のいずれかの項目をクリックします。
 - **設定**：タスクの設定を表示または編集します。
 - **一時停止 / 再開**：実行中のタスクを一時停止するか、停止中のタスクを再開します。
 - **削除**：選択したタスクを削除します。
 - **今すぐ実行**：選択したタスクをすぐに実行します。

-
2. **タスク ログ**フィールドから完了済みまたは中断されたタスク プロファイルを選択し、右側のペインで次のいずれかの項目をクリックします。
- **詳細**：正常に実行されなかったタスクの詳細を確認します。
 - **削除**：選択したタスク ログの項目を削除します。
 - **エクスポート (タスク ログ)**：選択したタスク ログを、CSV ファイルとしてエクスポートします。

7 アプリケーション設定

アプリケーション設定では、タスクのプロファイルを作成、編集できます。また、BRAdmin Professional アプリケーション内の各種設定を行うことができます。

アプリケーション設定を開くには  をクリックします。

7.1 基本設定

基本的なアプリケーション設定を変更するには、**基本設定**を選択します。

- 言語の変更

言語：ドロップダウンリストから、使用する言語を選択します。

- デバイスステータスの更新

デバイスステータスを自動更新させるため、**デバイスステータス更新**：フィールドで設定を行います。**自動で更新する**のチェックボックスを選択し、**周期を指定**：メニューで更新頻度を設定します。

- デバイス通信

デバイスと通信するには、「ノード名」または「IP アドレス」のいずれかを選択します。

以下の場合、「IP アドレス」を選択することをお勧めします。

- お使いのデバイスに固定 IP アドレスがある

または

- IP アドレスがデバイスに自動的に割り当てられるが、デバイスとの通信に問題がある

- CSV ファイルの区切り文字

ドロップダウンリストから、インポートまたはエクスポートする CSV ファイルの区切り文字を選択します。

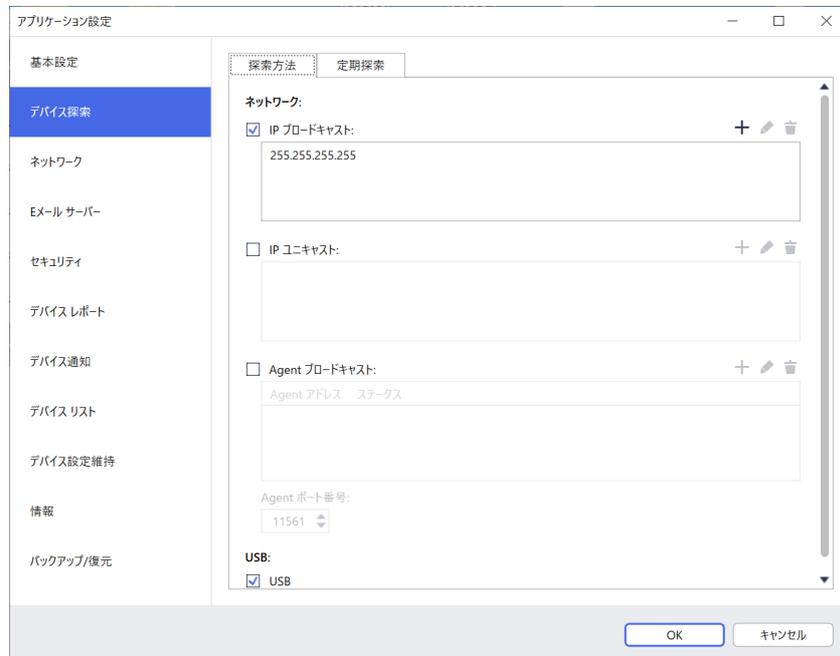
OK をクリックして、**アプリケーション設定**画面を閉じます。

7.2 デバイス探索の設定

ひとつまたは複数のデバイスを検出するには、**デバイス探索**の各種設定を行います。

探索方法タブ

デバイスの探索とデバイスを指定して探索 ... は、このタブでの設定に基づいて機能します。
(詳細は「[2.1 新しいデバイスの探索](#)」をご覧ください。)



- **ネットワーク上にあるデバイスを検索する場合**
ネットワーク：メニューで **IP ブロードキャスト**：または **IP ユニキャスト**：のチェックボックスを選択します。選択したフィールドの **+** をクリックし、使用するアドレスを指定します。
- **別のローカル ネットワーク上にあるデバイスを検索する場合**
ネットワーク：メニューで **Agent ブロードキャスト**：のチェックボックスを選択します。この機能は、BRAgent という名前の Agent ソフトウェアを使用します。**+** をクリックして、**Agent IP アドレス**：または **Agent ノード名**：フィールドを入力します。
- **USB 接続のブラザーのデバイスを検索する場合**
USB：のチェックボックスを選択します。

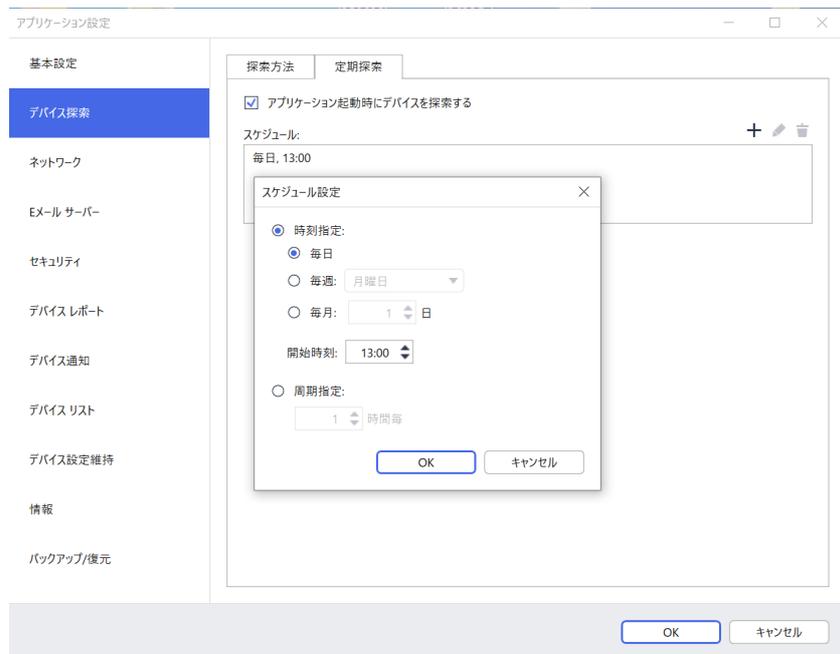


BRAgent は、お使いのパソコンとは別のローカル ネットワーク上のパソコンで実行します。BRAgent は、デバイスを探索し、探索結果を BRAdmin Professional 4 に送信します。

定期探索タブ

定期的に**デバイス探索**を実行するには、**探索方法**と**定期探索**の両方を設定します。

アプリケーション起動時にデバイスを探索するはデフォルトでオンに設定されています。アプリケーション起動時にデバイス リストにデバイスが表示されない場合、アプリケーションによってデバイスが自動探索されます。



1. **スケジュール**: フィールドで **+** をクリックし、スケジュールを設定します。
2. **OK** をクリックします。
3. **OK** をクリックして、**アプリケーション設定**画面を閉じます。



- 各フィールドの **+** を使用して指定した設定項目を編集するには、項目を選択し、 をクリックします。
- 各フィールドの **+** を使用して指定した設定項目を削除するには、項目を選択し、 をクリックします。

7.3 ネットワークの設定

アプリケーション設定

基本設定

デバイス探索

ネットワーク

Eメール サーバー

セキュリティ

デバイス レポート

デバイス通知

デバイス リスト

デバイス設定維持

情報

バックアップ/復元

SNMP プロキシ

SNMP バージョン:

SNMP v1/v2c のみ有効

SNMP v3 のみ有効

SNMP v1/v2c と v3 を有効

タイムアウト:

3 秒

リトライ回数:

3

SNMP v1/v2c 設定:

コミュニティ名:

Get:

public

Set:

internal

SNMP v3 設定:

編集

OK キャンセル

ネットワークの各種設定を行うには、次の操作を行ってください。

1. **SNMP** タブをクリックします。
2. **SNMP バージョン**: メニューからひとつオプションを選択します。
3. 選択したオプションを設定します。
4. **プロキシ**タブをクリックします (デフォルトでは**自動**に設定されています)。
5. (オプション) **手動**: を選択し、**サーバー名** :、**ポート** :、**ユーザー名**、**パスワード** : フィールドで項目を指定します。
6. **OK** をクリックして、**アプリケーション設定**画面を閉じます。

7.4 E メール サーバーの設定

デバイス レポート、デバイス通知、デバイス リスト タスクに関する通知またはファイルをメールで受け取るには、アプリケーションの **E メール サーバー** を設定します。

1. **E メール サーバー 認証方式**セクションで、ご利用の E メール サーバー設定に従って **OAuth2** または **SMTP サーバー** を選択します。
2. ご利用の認証方式に応じて、以下の指示に従ってください。

OAuth2

1. **サインイン** をクリックします。外部ブラウザが開きます。
2. 画面の指示に従って、メール送信に使用するアカウントでサインインします。サインインすると、アカウント名が表示され、E メールアドレスが送信者アドレスとして設定されます。



- トークン有効期限切れ または 無効なトークン エラーメッセージが表示される場合は、再度サインインします。
- パソコンやネットワークの電源をしばらく切っていた場合は、再度サインインします。
- OAuth2 サインイン設定は各パソコンに個別に保存されるため、エクスポートやインポートはできません。各パソコンで個別にサインインしてください。
- **バックアップ** では、OAuth2 設定はバックアップされません。

SMTP サーバー（デフォルト）

1. 送信メールサーバー (SMTP):、認証方法 :、SMTP over SSL/TLS: メニューで SMTP を設定します。
2. OK をクリックして、アプリケーション設定画面を閉じます。

7.5 パスワードによるアプリケーションの保護

アプリケーションのパスワードを指定または変更するには、次のいずれかの操作を実行します。

- 起動時にパスワード入力を必須に設定する場合
アプリケーション起動時にパスワード入力を要求するのチェックボックスを選択します。パスワード設定ウィンドウでパスワードを設定します。
- 現在のパスワードを変更する場合
パスワード設定をクリックし、現在のパスワード: フィールドに現在のパスワードを、新しいパスワード: フィールドに希望のパスワードを入力します。
- 起動時にパスワード入力を不要に設定する場合
アプリケーション起動時にパスワード入力を要求するのチェックボックスのチェックを外します。

OK をクリックして、アプリケーション設定画面を閉じます。

7.6 デバイス設定維持

1. プロファイル: フィールドの + をクリックし、プロファイル設定画面を開きます。



- 既存のプロファイルの設定を編集するには、プロファイル: フィールドからプロファイルを選択し、 をクリックして、必要に応じて設定項目を変更します。
- 既存のプロファイルを削除する場合は、プロファイル: フィールドからプロファイルを選択し、 をクリックします。

2. デフォルトのプロファイル名を変更するには、プロファイル名: フィールドにプロファイル名を入力します。
3. デバイス パスワード: フィールドに現在のパスワードを入力します。
4. デバイスのファームウェアを常に自動更新するには、最新のファームウェアに更新するのチェックボックスを選択します。
5. 設定ファイルに設定ファイル名を入力するか、参照 ... ボタンをクリックして設定ファイルを指定します。
6. スケジュール: を毎日または毎週: に指定します。
7. 開始時刻: を指定します。
8. OK をクリックして、アプリケーション設定画面を閉じます。

7.7 デバイス ログのプロファイルの作成

1. プロファイル: フィールドの + をクリックし、プロファイル設定画面を開きます。



- 既存のプロファイルの設定を編集するには、プロファイル: フィールドからプロファイルを選択し、 をクリックして、必要に応じて設定項目を変更します。
- 既存のプロファイルを削除する場合は、プロファイル: フィールドからプロファイルを選択し、 をクリックします。

2. デフォルトのプロファイル名を変更するには、プロファイル名: フィールドにプロファイル名を入力します。
3. スケジュール: フィールドの + をクリックします。
4. スケジュール設定ウィンドウが表示されます。時間、日付、または期間を選択します。

5. ログの送信 / 保存タブで各種設定を行います。

- Eメールでログを受け取るには、**Eメールを送信する**のチェックボックスを選択します。
- **宛先**：フィールドの **+** をクリックして、デバイスログを送信するEメール アドレスを入力します。
- **送信元**：フィールドに差出人のアドレスを入力します。
- デフォルトの件名を変更するには、**件名**：フィールドにEメールの件名を入力します。
- デバイス ログのファイルを保存するには、**ファイルを保存する**のチェックボックスを選択し、保存先のフォルダーを指定します。

The screenshot shows the 'Profile Settings' dialog box with the 'Log Send/Save' tab selected. The 'Profile Name' field contains 'Device Log2'. The 'Schedule' field is empty. The 'Log Send/Save' section has the 'Email to send' checkbox checked. The 'Recipient' field is empty. The 'Sender' field is empty. The 'Subject' field contains 'Devices Report'. The 'Save File' checkbox is unchecked. The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom.

6. ログ ファイルタブをクリックします。

- デフォルトのプロファイル名を変更するには、**ログ ファイル名**：フィールドにログ ファイル名を入力します。
- **ログ ファイルに含める情報**：オプションから必要なログ エントリー項目を選択します。
- **ファイル形式**：のドロップダウンリストからファイル形式を選択し、**日付の形式**：フィールドに日付の形式を入力します。

7. OK をクリックして、プロファイル設定画面を閉じます。



- パソコンの名前をログ ファイル名に含めるには、**ログ ファイル名**：フィールドに「%PCNAME%」を含めます。
- 「yyyy-MM-dd_HHmm」形式で日付をログ ファイル名に含めるには、**ログ ファイル名**：フィールドに「%DATE%」を含めます。
- ログ ファイル名には、パソコンの名前と日付の両方を含めることができます。例：お使いのパソコンの名前が「AAA」の場合、文字列「machinelog_%PCNAME%_%DATE%」により、「machinelog_AAA_2019-08-21_1113」というファイル名が生成されます。
- 利用できるログ エントリー項目は、対象デバイスによって異なります。

The screenshot shows the 'Profile Settings' dialog box with the 'Log File' tab selected. The 'Profile Name' field contains 'Device Log2'. The 'Schedule' field is empty. The 'Log File Name' field contains 'machinelog'. The 'Log File Information' section has the 'Status', 'Supplies', 'Paper', and 'Error History' checkboxes checked. The 'Supplies' section has 'Supplies (Remaining Life/Drum Counter)' and 'Supplies (Exchange Count)' checked. The 'Paper' section has 'Paper Count' checked. The 'File Format' dropdown is set to 'CSV'. The 'Date Format' field is empty. The 'OK' and 'Cancel' buttons are at the bottom.

8. OK をクリックして、アプリケーション設定画面を閉じます。

7.8 デバイス通知のプロファイルの作成

1. プロファイル: フィールドの **+** をクリックし、**プロファイル設定画面**を開きます。



- 既存のプロファイルの設定を編集するには、**プロファイル: フィールド**からプロファイルを選択し、**✎** をクリックして、必要に応じて設定項目を変更します。
- 既存のプロファイルを削除する場合は、**プロファイル: フィールド**からプロファイルを選択し、**🗑** をクリックします。

2. デフォルトのプロファイル名を変更するには、**プロファイル名: フィールド**にプロファイル名を入力します。
3. **宛先: フィールド**の **+** をクリックして、通知を送信する E メール アドレスを入力します。
4. **送信元: フィールド**に差出人のアドレスを入力します。
5. **言語: ドロップダウンリスト**から言語を選択します。
6. 通知を受けるエラーを選択します。
7. (オプション) リストの一番下にある**問題が解決された時、メールを送信する**のチェックボックスを選択します。
8. **OK** をクリックして、**プロファイル設定画面**を閉じます。
9. **ステータス確認周期: フィールド**で通知の頻度を指定します。
10. **OK** をクリックして、**アプリケーション設定画面**を閉じます。

7.9 デバイス リストのプロファイルの作成

1. デフォルトのファイル名を変更するには、**ファイル名: フィールド**にファイル名を入力します。
2. **スケジュール: フィールド**で **+** をクリックし、リストを取得するスケジュールを設定します。
3. E メールでリストを受け取るには、**E メールを送信する:**のチェックボックスを選択します。
 - **宛先: フィールド**の **+** をクリックして、リストを送信する E メール アドレスを入力します。
 - **送信元: フィールド**に差出人のアドレスを入力します。
 - デフォルトの Eメールの件名を変更するには、**件名: フィールド**に Eメールの件名を入力します。
4. デバイス リストのファイルを保存するには、**ファイルを保存する:**のチェックボックスを選択し、保存先のフォルダーを指定します。



- パソコンの名前をファイル名に含めるには、**ファイル名: フィールド**に「%PCNAME%」を含めます。
- 「yyyy-MM-dd_HH:mm」形式で日付をファイル名に含めるには、**ファイル名: フィールド**に「%DATE%」を含めます。
- ファイル名には、パソコンの名前と日付の両方を含めることができます。例: お使いのパソコンの名前が「AAA」の場合、文字列「machine_log_%PCNAME%_%DATE%」により、「machine_log_AAA_2019-08-21_1113」というファイル名が生成されます。
- 各フィールドの **+** を使用して指定した設定項目を編集するには、項目を選択し、**✎** をクリックします。
- 各フィールドの **+** を使用して指定した設定項目を削除するには、項目を選択し、**🗑** をクリックします。

5. **OK** をクリックして、**アプリケーション設定画面**を閉じます。

7.10 アプリケーション改善への協力の設定

このアプリケーションを継続して改善していくために、使用状況のデータを定期的に収集させていただきたいと考えております。

ユーザー情報およびアプリケーション使用データの共有に関する権限・設定を変更する場合は、**アプリケーション改善への協力**を選択します。

使用状況に関する一般的なデータの共有を許可していただいた場合でも、お客様の個人情報の匿名性は保持されます。

7.11 情報

BRAdmin Professional 4 アプリケーションに関して利用できる情報は以下の通りです。

- ツールのアプリケーション ログを確認する場合 (エラー発生時): **アプリケーション ログ**: メニューから**開く**をクリックします。
- バージョン情報を確認する場合: このアプリケーションについて: メニューから、**バージョン**をクリックします。
- アプリケーションのバージョンを確認する場合: **ソフトウェア アップデートの確認**をクリックします。新しいバージョンが利用できる場合、ソフトウェアをアップデートできます。
- ライセンス情報を確認する場合: **ライセンス**をクリックします。

7.12 ツール : Setting File Editor

Setting File Editor の使用目的 :

- デバイス固有の設定すべてを設定ファイル (.json、.dpk、.edpk) から一括削除する場合や不必要な本体設定のみを削除し、保存すること。
- Mapply 機能を実行するために必要な設定ファイル (.json、.dpk、.edpk) とプロファイル (.csv) を作成します。
 - 参照キー (Mapply) を設定ファイル (.json、.dpk、.edpk) に追加し、保存します。
 - 既存のプロファイルを使用するか、現在開いている設定ファイルに追加された参照キー (Mapply) のフィールドを含む新規プロファイル (.csv) を作成します。

Setting File Editor はラベル製品には対応していません。

1. Setting File Editor を開始するには、**ツール**を選択し、**開く**をクリックします。
2. 設定ファイルを開くには、次のいずれかの操作を行ってください
 - **ファイルメニュー**をクリックし、**開く**を選択します。
 - 画面中央の**開く**ボタンをクリックし、設定ファイルをクリックします。
 - 設定ファイルが保存されているフォルダーにアクセスし、指定のエリアに設定ファイルを直接ドラッグアンドドロップします。
3. デバイス固有設定の削除を確定するためのダイアログボックスが表示されます。必要に応じて、**チェックを外す**をクリックし、ダイアログボックスに表示されているすべての設定のチェックを外します。
4. 次のいずれかの操作を実行します。
 - a) 設定ツリーから項目を削除する。
設定ファイルを保存すると、チェックを外した項目がファイルから削除され、設定ツリーに表示されなくなります。
 - b) 参照キー (Mapply) を使用する。
アドバンスドメニューで、**Mapply 参照キーを設定する**を選択し、設定ファイルの設定値を mapply 参照キーに変更するか追加します。
Mapply 参照キーフィールドにキーワードを入力します。

- c) 配列のキーに対して参照キー (Mapply) を設定します。
1. **Mapply CSV テンプレートのダウンロード** ボタンをクリックして、Mapply CSV テンプレートをダウンロードします。
 2. ダウンロードした Mapply CSV テンプレートを編集し、参照キーワードを追加します。
 3. 作成した Mapply CSV ファイルをインポートします。
Mapply CSV ファイルのインポート ... ボタンをクリックし、**保存**をクリックします。
- d) **エクスポート ...** メニューまたは画面右上隅の**エクスポート ...** ボタンを使用して参照キーをエクスポートします。
- **既存のプロファイルに Mapply 参照キー欄を追加する**を選択して、既存の Deployment profile (CSV または ZIP ファイル) に参照キーを追加します。
 - **Mapply 参照キー入りのプロファイルテンプレートを新規作成する**を選択し、新規 Deployment profile (CSV ファイル) を作成します。



- アドバンスドメニューで**デバイス固有設定項目を除外する**を選択し、デバイス固有設定項目すべてを一括削除します。
- **Mapply 参照キーを設定する**を選択すると、**エクスポート ...** メニューとボタンが表示されます。

7.13 アプリケーションの設定とデータのバックアップと復元

バックアップ ファイルをエクスポートまたはインポートする場合：

• BRAdmin Professional 4 のバックアップ

デバイス データとログ データを含む BRAdmin Professional 4 のすべての設定を使用する場合：

- **アプリケーションのすべての設定とデータをエクスポートする場合：BRAdmin Professional 4 のバックアップ**：メニューの**バックアップ ファイル作成**をクリックし、エクスポートしたデータを保存するフォルダーを指定し、**バックアップ**をクリックします。
- **外部ファイルからアプリケーションのすべての設定とデータをインポートする場合：BRAdmin Professional 4 のバックアップ**：メニューで**バックアップ ファイルのインポート**をクリックし、ファイルを選択して、**インポート**をクリックします。

• アプリケーション設定のバックアップ

BRAdmin Professional 4 のアプリケーション設定のみが含まれている (デバイス / ログ データが含まれていない) INI ファイルを使用する場合：

- INI ファイルを作成するには、**アプリケーション設定のバックアップ**：で**バックアップ ファイル作成**をクリックし、ファイルを選択して、**バックアップ**をクリックします。
- INI ファイルをインポートするには、**アプリケーション設定のバックアップ**：で**バックアップ ファイルのインポート**をクリックし、ファイルを選択して、**インポート**をクリックします。

7.14 証明書プロファイルの作成および管理

1. **プロファイル**：フィールドの上にある **+** をクリックし、**プロファイル設定** 画面を開きます。



- 既存のプロファイルの設定を編集するには、**プロファイル**：フィールドからプロファイルを選択し、 をクリックして、必要に応じて設定項目を変更します。
- 既存のプロファイルを削除する場合は、**プロファイル**：フィールドからプロファイルを選択し、 をクリックします。

2. デフォルトのプロファイル名を変更するには、**プロファイル名**：フィールドにプロファイル名を入力します。
3. **デバイス パスワード**：フィールドに現在のパスワードを入力します。
4. **CA 証明書**：または **デバイス証明書**：フィールドに証明書のフォルダーのパスを入力し、**参照 ...** ボタンをクリックしてフォルダーを指定します。
5. パスワード保護されている証明書の場合、**デバイス証明書パスワード**：フィールドにパスワードを入力します。不正にアクセスされないことがないように、証明書ファイルの取り扱いには注意してください。

6. **残り日数**：フィールドで、証明書の有効期限が切れるまでの日数を設定します。
7. **スケジュール**：を **毎日** または **毎週**：に指定します。
8. **開始時刻**：を指定します。
9. **OK** をクリックして、**プロファイル設定**画面を閉じます。

プロファイル設定

プロファイル名:
Manage certificate 1

デバイスパスワード:
[password field]

CA証明書:
[empty field] 参照...

デバイス証明書:
[empty field] 参照...

デバイス証明書パスワード:
[password field]

残り日数:
30

スケジュール:
時刻指定:
 毎日
 毎週: 月曜日

開始時刻: 13:00

OK キャンセル

8 困ったときは

デバイスが検出されない場合は、「[8.1 デバイスが検出されない場合](#)」をご覧ください。

詳細は、**情報メニュー**のアプリケーション ログを確認してください（「[7.11 情報](#)」をご覧ください）。

問題が続く場合は、お近くのブラザーの窓口にお問い合わせください。

8.1 デバイスが検出されない場合

ネットワーク接続の場合（タイプは問いません）

次の点を確認してください。

- パソコンがネットワークに接続されていること。
- 対象デバイスがネットワークに接続されていること。
- 対象デバイスの電源が入っていること。
- セキュリティ ソフトウェアや Windows ファイアウォールによって検出が妨害されていないこと。
- 対象デバイスが検出条件に一致していること。
- 対象デバイスがブロードキャスト パケットの範囲内にあること。範囲内にはない場合は、ユニキャスト検出をお試しになるか、BRAgent ソフトウェアを使用してください。

詳細は「[7.2 デバイス探索の設定](#)」をご覧ください。

USB 接続デバイスの場合

次の点を確認してください。

- 対象デバイスで適切なドライバーが使用されていること。
- 対象デバイスが USB 差し込み口に接続されていること。
- 対象デバイスがビジー状態ではないこと。

8.2 アクセス権不足

BRAdmin より、権限が適切ではないため、選択したフォルダーにアクセスできないと通知された場合は、次の手順に従って BRAdmin サービスの設定を変更してください。

1. **コントロールパネル**を開き、**システムとセキュリティ**をクリックして、**管理ツール**を選択します。
もしくは、**すべてのアプリ**から **Windows 管理ツール**を選択します。
2. **サービス**をダブルクリックします。
3. サービス リストで、**Brother BRAdmin Service** を右クリックし、**プロパティ**を選択します。
4. **ログオン**タブをクリックし、**アカウント**にアカウント情報を入力します。使用するアカウントに次の権限が付与されていることを確認してください。
 - 使用しているパソコンの管理者権限
 - 指定のフォルダーへのアクセス権限
5. プロンプトが表示されたら、サービスとアプリケーションを再起動します。

8.3 困ったときは

エラー	対処方法
アカウント ロック エラー	対象デバイスの管理者パスワードが何度も誤って入力されました。対象デバイスのパスワード ロックが解除されるまでお待ちください。
アクティベーション済み	デバイスで有効化しようとしている機能はすでに有効化されています。
設定済み	デバイスパスワードがすでにデフォルトのログイン パスワードから変更されています。
PJL 変換に失敗しました	入力データと互換性のある PJL 変換表を使用していることを確認してください。
設定ファイルの変換に失敗しました	設定ファイルと互換性のある PJL 変換表を使用していることを確認してください。
接続に失敗しました	対象デバイスが接続されていることと、データ転送に利用できることを確認してください。
設定結果が設定ファイルと一致しません	設定ファイルのひとつまたは複数の設定が適用されませんでした。詳細はログファイルをご覧ください。
	スリープ時間およびオートパワーオフ設定：20 分以上に設定したい場合、または設定をオフに変更したい場合は、製品の操作パネルから行ってください。
デバイス証明書パスワードエラー	正しいデバイス証明書パスワードを入力していることを確認してください。
デバイス内部エラー	対象デバイスを再起動して、もう一度お試しください。
適用プロファイルにデバイスが指定されていません	適用プロファイル (Deployment profile) に対象デバイスがありません (Mapply 機能)。
デバイスがビジー状態です	対象デバイスが現在のジョブを終えるまでお待ちください。
修正失敗	設定ファイルのひとつまたは複数の設定が適用されませんでした。詳細はログファイルをご覧ください。
ファイルが見つかりません	ファイルパスを正確に指定していることを確認してから、もう一度お試しください。
ファイル保存エラー	保存先フォルダーに十分な空き容量があることを確認してください。空き容量が不足している場合、保存先フォルダーにあるファイルが上書きされる可能性があります。
ファームウェア アップデートが必要です	対象デバイスのスキーマのバージョンが JSON 設定ファイルのスキーマのバージョンよりも古くなっています。デバイスのファームウェアをアップデートしてください。
ファーム アップデートが無効です	デバイスのファームウェア アップデートの設定が有効に設定されていることを確認してください。
内部エラー	すべての設定が正しいことを確認してから、もう一度お試しください。
設定ファイルが無効です	設定ファイルの内容と構造が正しいことを確認してから、もう一度お試しください。
無効なファイル エラー	正しい DJF ファイルまたは正しい対象デバイスを選択していることを確認してください。
ライセンス エラー	正しいライセンス コード (20 桁) を入力していることを確認してください。
新しいバージョンのスキーマが必要です	JSON 設定ファイルのスキーマのバージョンが対象デバイスのスキーマのバージョンよりも古くなっています。
管理者モードでない	対象デバイスで管理者モードを有効にしてください。
未検出	対象デバイスが接続されていることと、データ転送に利用できることを確認してください。
非サポート	すべての対象デバイスが、使用する機能 / コマンドをサポートしていることを確認してください。もしくは、使用する機能 / コマンドをサポートしている対象デバイスを選択してください。

エラー	対処方法
一部成功	展開したソリューションの一部が有効化されました。残りのソリューションはすでに有効化されていたか、対象デバイスでサポートされていません。詳細は、 ソリューション管理画面の結果の保存先 ：で指定したパスに保存された CSV ファイルを確認してください。
パスワードが違います	正しいパスワードを入力していることを確認してください。
設定ファイルパスワードエラー	設定ファイルパスワードが正しいことを確認してください。
アクセス権エラー	指定のフォルダーまたは出力フォルダーへのアクセス権があることを確認してください。
ポート 9100 は無効です	対象デバイスのポート 9100 設定が有効であることを確認してください。
シリアル番号不一致	デバイスの ID を指定する場合は、必ず対象デバイスのシリアル番号と一致するシリアル番号を指定してください。
サーバーとの通信に失敗しました	本ツールを最新バージョンに更新するため、ネットワーク接続が確立されていることを確認してください。
セッション タイムアウト	この有効化セッションは、24 時間以上操作が行われないと期限切れとなります。もう一度、希望のソリューションまたは機能を有効化してください。
ソリューション非対応	対象デバイスが、展開するソリューションをサポートしていることを確認してください。
ソリューション非対応 / アクティベーション済み	展開したソリューションの一部が、対象デバイスでサポートされていないか、すでに有効化されています。詳細は、 ソリューション管理画面の結果の保存先 ：で指定したパスに保存された CSV ファイルを確認してください。
SNMP 通信エラー	SNMP 設定を正しく指定していることを確認してください。
SNMP v3 セキュリティ エラー	SNMP 設定が正しいことを確認してください。対象デバイスのロックが解除されたら、もう一度お試しください。
認証エラー	ライセンスコードが何度も誤って入力されました。 ライセンスサーバーのロックが解除されるまでお待ちください。 ライセンスコードが正しい形式 (20 桁) であることと、まだ使用されていないことを確認してください。
書き込みロックエラー	Custom UI 書き込みロックがオンになっています。Custom UI ファイルを送信する前に、Custom UI 書き込みロックをオフにしてください。
書き込みロックパスワードエラー	Custom UI 書き込みロックパスワードが正しくありません。

brother